

受託開発をたのしむ。
「もっとソーシャルに仕事する！」

2007年12月20日

for



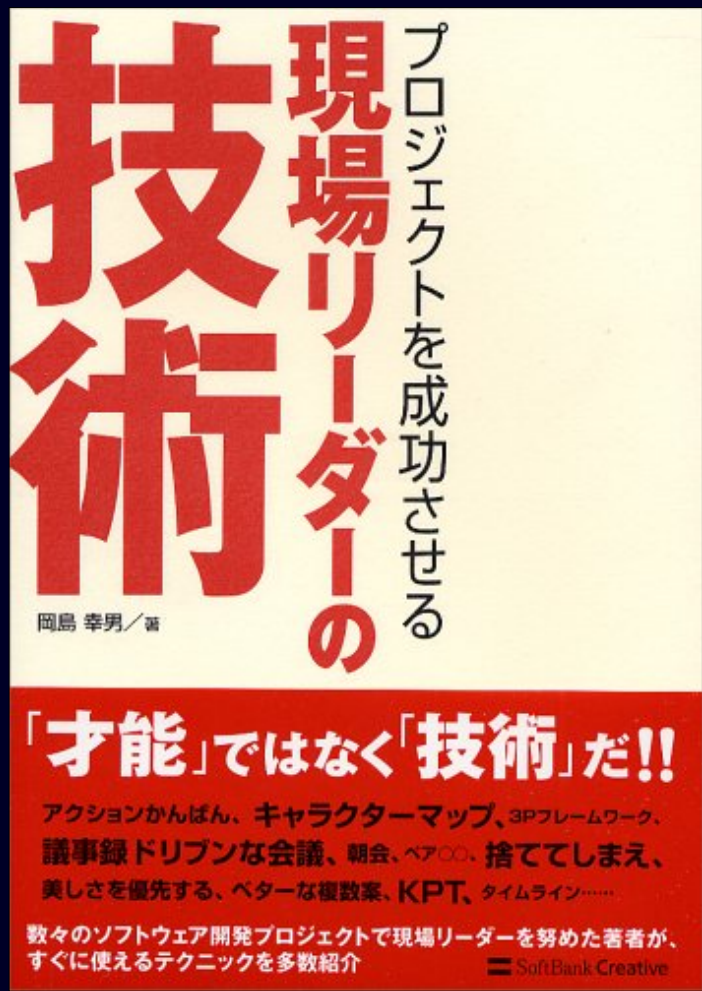
自己紹介

岡島 幸男 (id:HappymanOkajima)



職業は「現場リーダー」兼「マネージャ」。毎週、福井⇄東京

自己紹介



「リーダー本」2006春

リーダーシップ

プロジェクトファシリテーション

「いかにプロジェクトを成功させるか」が私の仕事であり、関心ごとです。

最初にいっとくべきこと



といえは・・・

最初にいっとくべきこと

アジャイル開発者の習慣
— acts_as_agile

スケール
連続性を築

第3回

(株)永和システムマネジメント
角谷 信太郎 KAKUTANI Shintaro
s-kakutani@esm.co.jp
<http://kakutani.com>



ですが...

最初にいっとくべきこと

私は「ピンチヒッター」では
ありません。

最初にいっとくべきこと

とはいえ、**技術評論社**に貢献したこともありません。

本日のキーワード

- 受託開発の醍醐味
- 「Productive Bugs」を意識したテスト
- 「ソーシャル志向のチーム」

開発者からみた受託開発の醍醐味

■羽生さんに全部もってかれました。。。

開発者からみた受託開発の醍醐味

- 「たった一人の顧客」に届けられる
- チームプレイ重視
- Quality/Cost/Deliveryによる明確な縛り

「Quality縛りに燃える」

品質を高める方法

- 保守性の高いドキュメント
- シンプルな仕様
- その他もろもろ
- 「Productive Bugs」を増やす

Productive Bugs(生産的バグ)

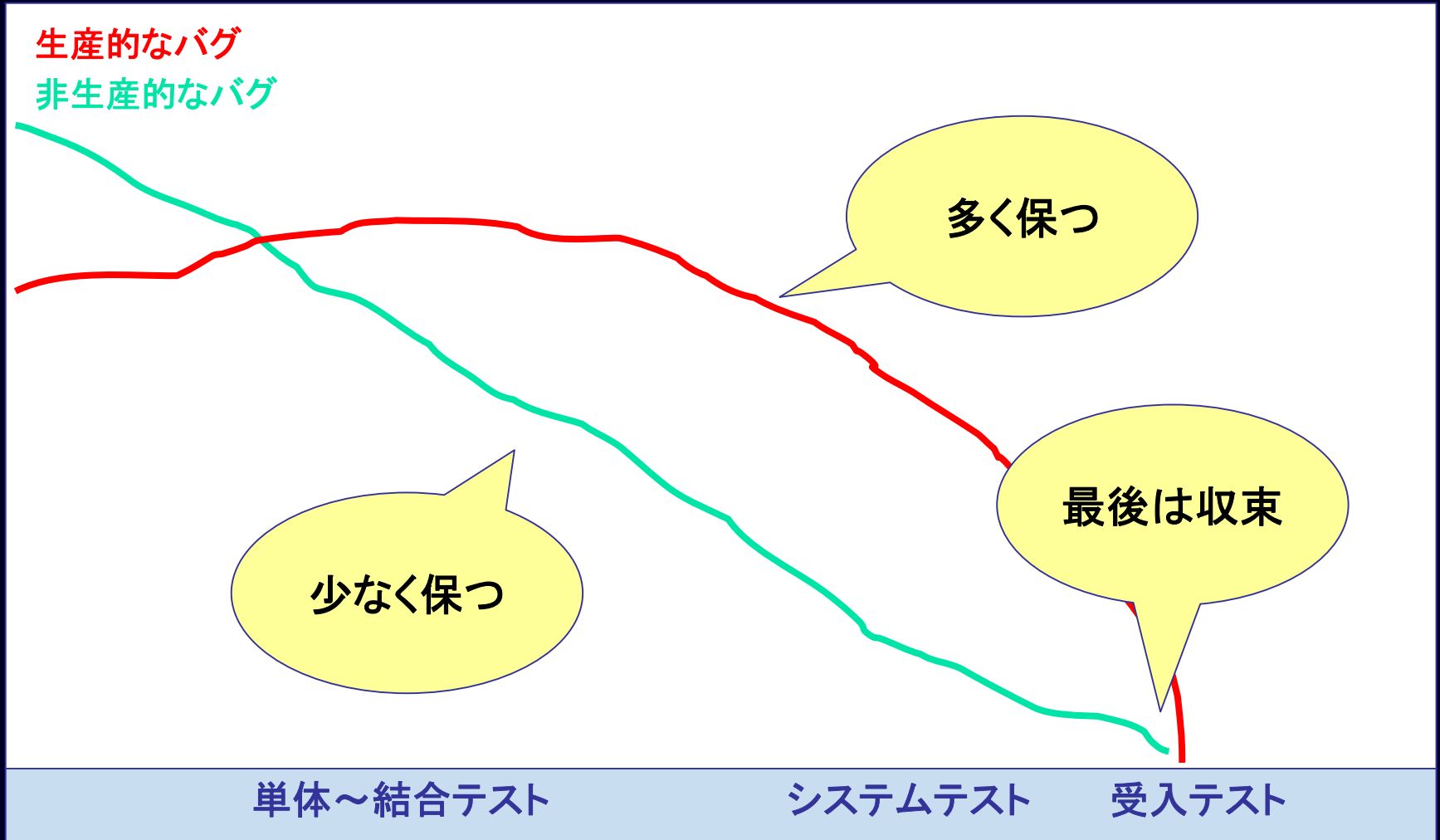
- 「成功に貢献するバグ」
- スモール・ベースボールにおける概念、「アウトの生産性」に触発された俺用語
 - 送りバント、犠牲フライなど、勝利に貢献する「生産的アウト」を増やすことを重視する

品質の向上に寄与する「生産的なバグ」を、むしろ増やそうとする考え方

「生産的なバグ」と「非生産的なバグ」

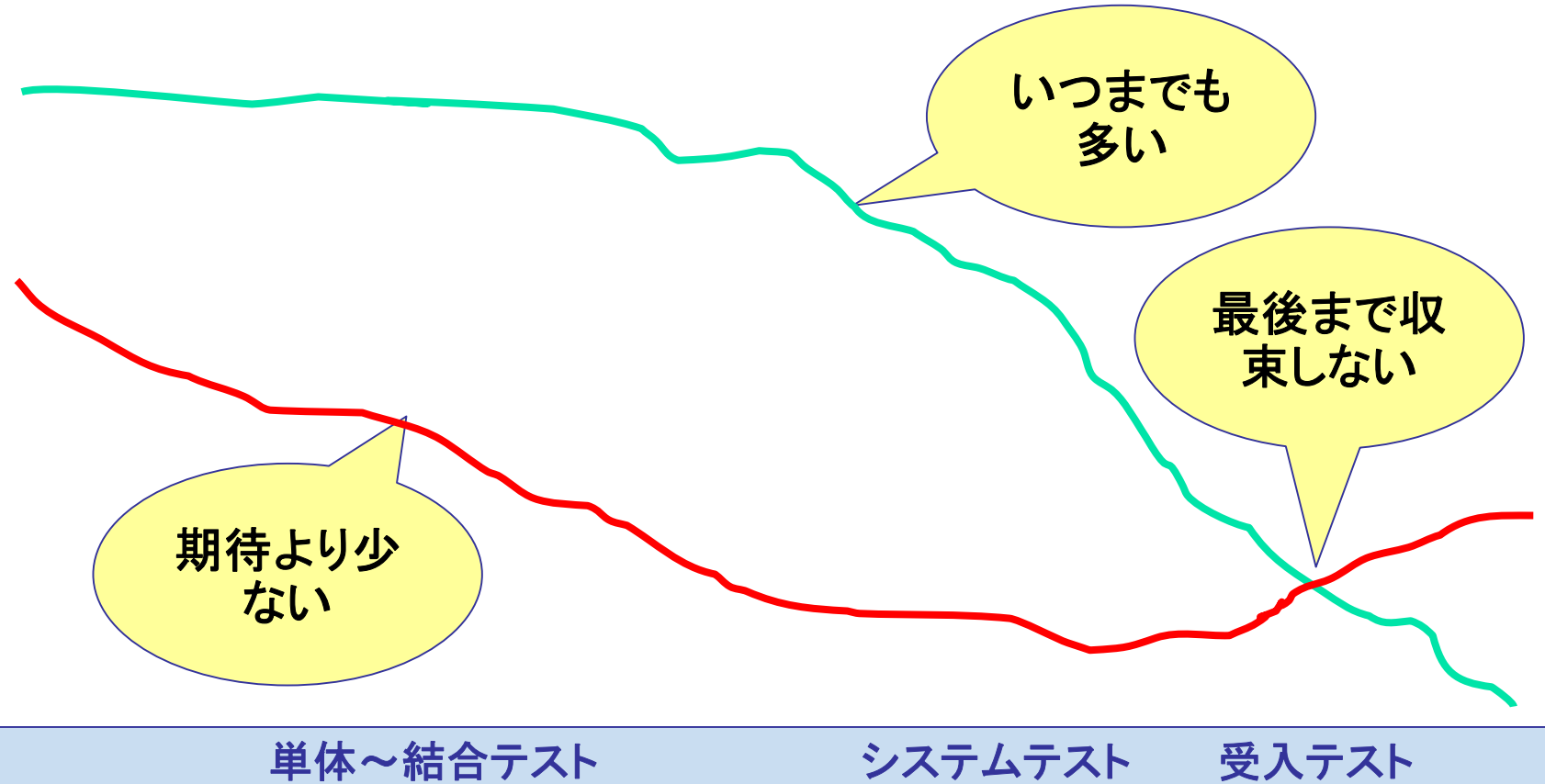
- 単体テストで、非常にレアな例外パターンを発見
- 結合テストで、運用に問題のあるケースを発見
- システムテストで、実際のデータでのみ発生する問題を発見
- システムテストにおける、「データのオーバーフロー」
- 受入テストにおける、「未入力チェックのモレ」
- 「デグレ」

理想のバグ曲線



現実のバグ曲線

生産的なバグ
非生産的なバグ



3つのアプローチ

- 「成功に貢献する生産的バグ」をいかに多くするか考える
 1. TDDで生産的でないバグを減らす
 2. 繰り返し開発で、生産的なバグの発見チャンスを増やす
 3. 質の高いテストケースをたくさんもたらすソーシャル志向のチーム

「TDD」



TDDの効果その1

■「非生産的バグ」を減らす

問題発生レイヤ	発見問題数	割合	本来発見されるべきテスト	
			単体テスト	結合テスト
プレゼンテーション層	16	70%	16	0
サービス層	5	22%	4	1
データアクセス層	2	8%	1	1
合計	23		21	2

※とあるシステムの結合テスト結果レポート

非生産的なバグ

- システムテストにおける、「データのオーバーフロー」
- 受入テストにおける、「未入力チェックのモレ」
- 「デグレ」

繰り返し実施可能なテストによって、「非生産的なバグ」を減らすことができる

TDDの効果その2

■「生産的バグ」を増やす

問題発生レイヤ	発見問題数	割合	本来発見されるべきテスト	
			単体テスト	結合テスト
プレゼンテーション層	16	70%	16	0
サービス層	5	22%	4	1
データアクセス層	2	8%	1	1
合計	23		21	2

※とあるシステムの結合テスト結果レポート

生産的なバグ

- 単体テストで、非常にレアな例外パターンを発見
- 結合テストで、仕様の不備、考慮漏れを発見
- システムテストで、運用に問題のあるケースを発見

TDDは、主に単体テストレベルでの「潜在的な生産的なバグ」を増やしている

「繰り返し開発」

バグの発見チャンスを増やす

- 結合テスト以降のテスト回数を増やす
- アジャイルプロセスでは、ユーザー受入テストの頻度を高くすることで、TDD(=単体テスト)を補っている

ユーザーからのフィードバックが一番質の高いテストであり、その頻度を増やす

「ソーシャル志向チーム」

「ソーシャル」といえば

■ SNS

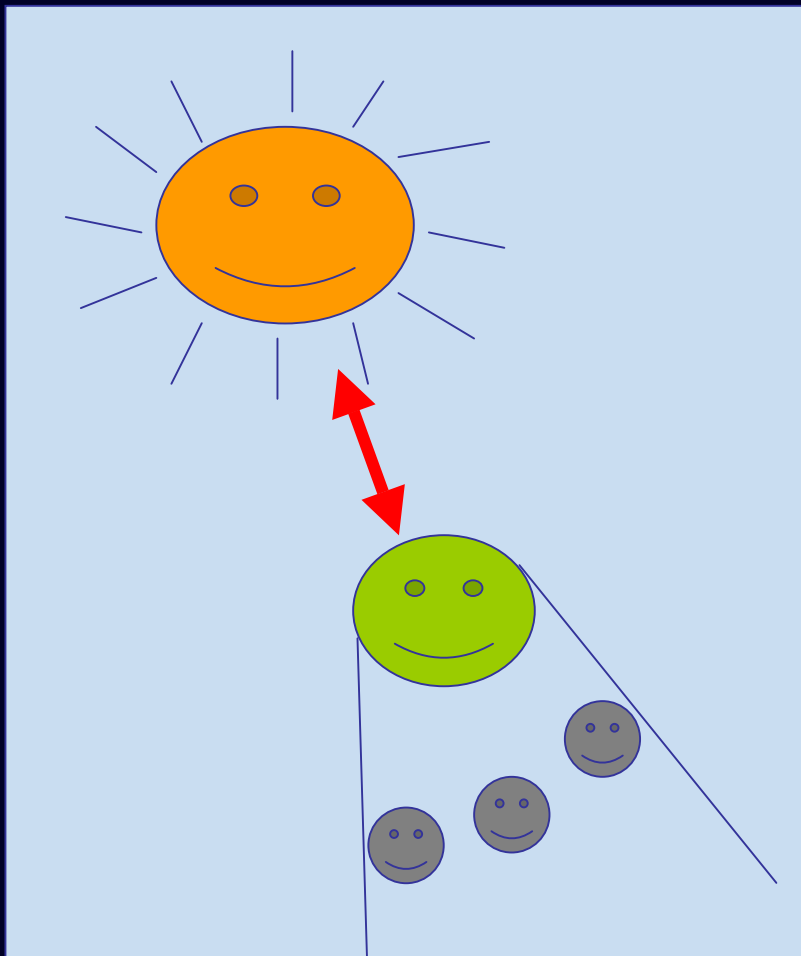
■ ブログ

良質のテストケースを増やす

- 生産的バグを産む、質の高いテストケースをたくさん準備するには、
 - イテレーション計画
 - テスト計画
 - 「お客さまとの関係の多さ」

計画だけでは、質の高いテストケースを網羅することはできない

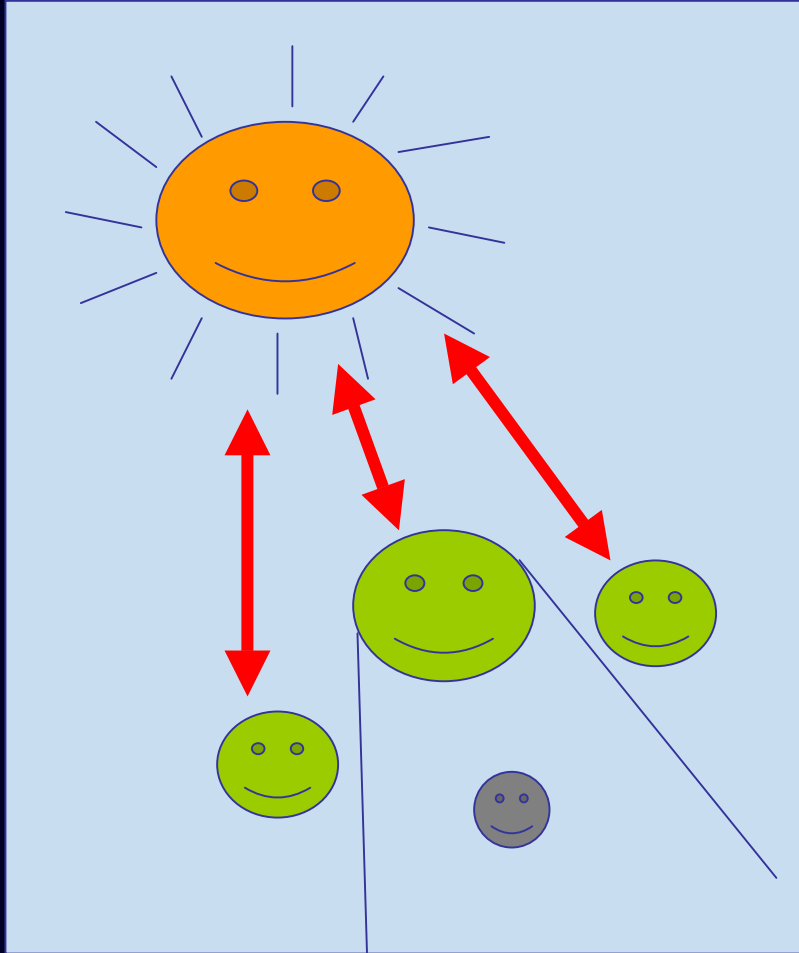
一般的な受託開発チーム



強いリーダーシップ型
コマンド&コントロール
リーダーの窓口能力

なるだけ、メンバーをリーダーの影にしてしまわないこと

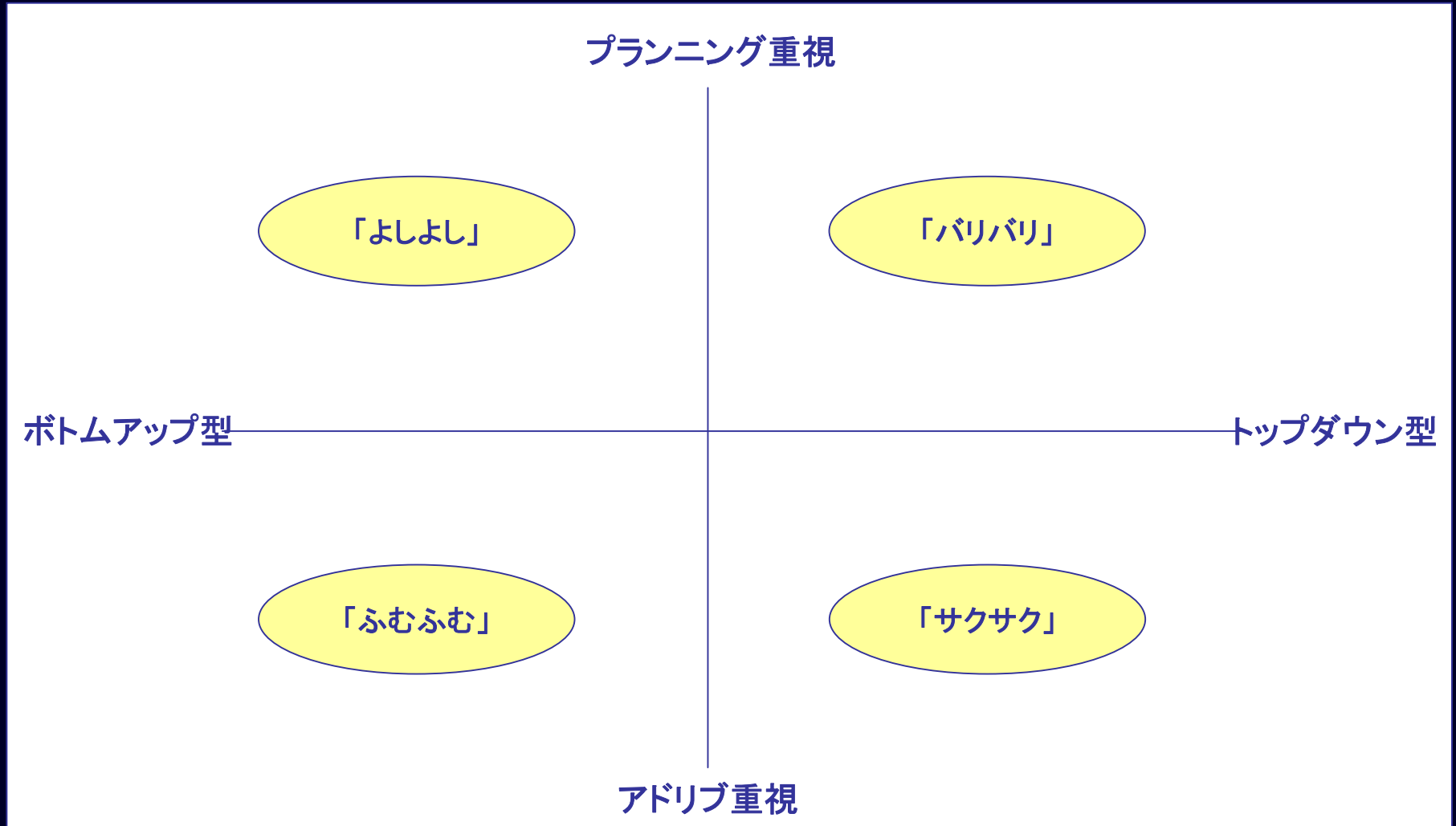
お客様との関係:「ソーシャル志向」なチーム



弱いリーダーシップ型
コラボレーション
メンバーの主体性

お客さまとそのビジネスやシステムに関心を持てるメンバーを増やすこと

リーダーとの関係：4タイプのリーダー



メンバーにとってはリーダーとの関係も、かなり重要。

タイプ別、リーダーとの付き合い方

「よしよし」

期待を上回る成果
をしめす

「バリバリ」

オンリーワンの右腕
を目指す

ひっそりと協力する

「ふむふむ」

甘えすぎない

「サクサク」

これも「ソーシャル」

続きは、

受託本(仮)

「受託本」2007春
受託開発者の手引書

2007年3月 技術評論社より発売予定です。乞うご期待

最後にいっとくべきこと

これで、**技術評論社**に貢献
したいです。